

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 (株)ぐるなび

コード番号 2440 URL <http://www.gnavi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久保 征一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 管理本部長

(氏名) 倉沢 仁

TEL 03-3215-8818

四半期報告書提出予定日 平成21年8月3日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	5,451	22.1	963	18.7	961	17.0	551	14.2
21年3月期第1四半期	4,463	—	812	—	821	—	482	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2,145.65	2,144.44
21年3月期第1四半期	1,882.12	1,877.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	12,261	9,876	80.5	38,389.40
21年3月期	12,929	9,738	75.2	37,912.37

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 9,868百万円 21年3月期 9,729百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	1,700.00	1,700.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	850.00	—	850.00	1,700.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	11,060	20.7	1,873	9.1	1,895	9.1	1,055	6.4	4,107.92
通期	23,482	17.3	4,512	15.3	4,555	14.3	2,583	14.3	10,057.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 259,840株 21年3月期 259,400株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 2,779株 21年3月期 2,779株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 256,903株 21年3月期第1四半期 256,421株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

当第1四半期のわが国経済は、世界的な金融危機を背景に企業業績や雇用情勢の悪化といった深刻な景気後退が続く中、先行きの不透明感から個人消費が低迷する厳しい状況で推移いたしました。一部に持ち直しの動きも見られる状況でありました。当社サービスの対象である外食産業におきましては、社団法人日本フードサービス協会の外食産業データによれば、全業態トータルの売上高は4月に前年同期比100.8%、5月には102.1%と回復基調が見られたものの、6月には再び97.4%に落ち込むなど、依然厳しい経営環境が続いております。

このように、飲食店にとってより効果的な販促が必要とされる環境の下、当社は“飲食店のサポーター”並びに“食のトータルサイト”という視点から、サイトの価値を高めるための活動、及び基盤事業の拡大並びに関連事業の推進について、以下のとおり取り組んでまいりました。

①当社サイトの価値を高めるための活動

当社サイトの価値を高めるためには、PC・モバイル分野において機能強化や利便性向上によりメディアパワーを向上させることが重要だと考えております。具体的な施策として、PCについては、4月に「ぐるなび」エリア版及び都道府県版の情報を整理し、利便性を意識したデザインにリニューアルいたしました。

モバイルについては、4月より「ぐるなびiPhone/iPod touch 向けアプリケーション・Webサイト」の提供を開始する等、機能強化に取り組んでおります。また、より良いサイト作りとサービス提供を目的とした研究サイト、モバイル版「ぐるなびLabo」では「今ココ検索」をスタートし、GPS機能を用いて現在地周辺のレストラン検索が簡単にできるサービスを提供しております。

②基盤事業の拡大

基盤事業については、顧客満足度の向上を最重要課題として、総加盟店舗数の増加及び単価の向上を図りました。具体的には、営業本部の人員を増強するとともに、飲食店との絆をより強固なものにすべく、営業チームと巡回スタッフ、コールセンター、ぐるなび通信、ぐるなび大学により、加盟店を多面的にサポートし、顧客接点を拡大しております。4月には、恒例のGONミーティング（戦略共有会議）を全国13ヶ所で開催し、ぐるなびを活用した販促の成功事例を加盟店と共有いたしました。また、「スーパーらくらく幹事さん」、「らくらく求人」、「ぐるなびタッチ」等のインターネット販促ツールをセットにした基本プラン「スタートプラン」の販売にも注力しております。

BtoB事業については、食品メーカーの販売促進、携帯キャリアのキャンペーン、自治体による食材のキャンペーンといったプロモーションにより、企業や自治体、産地等と飲食店を結ぶネットワークの構築を進めております。5月には、全国の生産者や卸業者が厳選商品を特別卸売価格で提供するBtoBサイト「週刊ぐるなび市場」を開設し、外食の情報問屋として飲食店支援を強化しております。

このような取組みにより、平成21年6月末現在、加盟店舗数は48,408店となり、加盟店舗数のうち、販促正会員店舗数（販促バックサービスを利用している加盟店舗数）は14,625店、ビギナー会員店舗数は33,783店となり、基盤事業の売上高は5,220百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

③関連事業の推進

関連事業については、「ぐるなび食市場」では業務用商品や訳あり商品の販売を拡充いたしました。「ぐるなびトラベル」では、宿泊予約通知メール内で周辺飲食店のクーポン情報を紹介するサービス「ぐるなびトラベルクーポン」を開始するとともに、6月にはサイトを大幅リニューアルいたしました。東京メトロと共同運営の東京おでかけサイト「Let's Enjoy TOKYO」では、ゴールデンウィーク、ビアガーデンなど、季節感のある特集コンテンツを拡充し、メディアパワーの増大を図りました。

子会社のジョイジョイ㈱が結婚式会場情報を提供する「ぐるなびWedding」では、4月にウエディング業界初となるフルFlashに対応したASP型のオフィシャル携帯サイトサービスを開始しております。

このような取組みにより、関連事業の売上高は231百万円（前年同期比33.8%増）となりました。

一方、社会的な活動については、「ぐるなび環境宣言」に基づいた新たな取組みとして、「ぐるなびタッチ」を活用した助成金プログラム「タッチでエコ！」を4月より開始いたしました。シェフに向けては、国内最大規模のシェフイベント「ぐるなびシェフ フェスティバル2009」を6月に開催し、恒例の「ぐるなびシェフBEST OF MENU」決勝審査会等を実施、シェフの社会的地位向上を目指して活躍と発展の場を創出しております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は順調に推移し、5,451百万円（前年同期比22.1%増）となりました。利益面では、営業利益は963百万円（前年同期比18.7%増）、経常利益は961百万円（前年同期比17.0%増）、四半期純利益は551百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

事業の区分別売上高は、次のとおりです。

区分		前第1四半期連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
基盤事業	飲食店販促サービス				
	販促パックサービス	3,210,345	71.9	3,979,086	73.0
	継続型サービス	729,353	16.4	830,444	15.2
	スポット型サービス	169,916	3.8	192,586	3.5
	小計	4,109,614	92.1	5,002,117	91.7
	プロモーション	180,946	4.0	218,083	4.1
	小計	4,290,561	96.1	5,220,200	95.8
	関連事業	173,215	3.9	231,700	4.2
	合計	4,463,777	100.0	5,451,900	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、主に法人税等や配当金の支払いにより現金及び預金が減少したため、前連結会計年度末と比べ667百万円減少し、12,261百万円となりました。また負債は、主に未払法人税等が減少したことにより、806百万円減少し、2,384百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金が増加したことにより、138百万円増加し、9,876百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ687百万円減少し、3,974百万円（前年同期比27.7%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は140百万円（前年同期は416百万円の使用）となりました。これは主に、法人税等の支払額1,092百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益949百万円及び減価償却費320百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は439百万円（前年同期比28.0%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出60百万円、ソフトウェアの取得による支出371百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は391百万円（前年同期比118.2%増）となりました。これは主に、配当金の支払額390百万円があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

a. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

b. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

a. 税金費用の計算

税金費用については、一部の連結会社において当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,024,162	4,711,766
受取手形及び売掛金	3,030,695	3,131,993
仕掛品	14,093	15,096
未収入金	801,721	805,700
その他	642,753	466,107
貸倒引当金	△459,841	△420,722
流動資産合計	8,053,585	8,709,941
固定資産		
有形固定資産	647,322	653,584
無形固定資産		
のれん	81,917	89,193
ソフトウェア	2,219,536	2,195,350
その他	96,289	126,775
無形固定資産合計	2,397,743	2,411,319
投資その他の資産	1,162,880	1,154,388
固定資産合計	4,207,945	4,219,293
資産合計	12,261,530	12,929,234
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,652	118,388
未払法人税等	423,694	1,130,415
ポイント引当金	25,503	23,145
未払金	974,676	1,128,564
その他	642,846	567,731
流動負債合計	2,177,374	2,968,246
固定負債		
負ののれん	99,426	107,074
その他	108,196	115,781
固定負債合計	207,622	222,856
負債合計	2,384,996	3,191,102

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,334,300	2,329,350
資本剰余金	2,884,780	2,879,830
利益剰余金	4,992,524	4,877,557
自己株式	△315,026	△315,026
株主資本合計	9,896,579	9,771,712
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△28,161	△42,602
評価・換算差額等合計	△28,161	△42,602
少数株主持分	8,116	9,022
純資産合計	9,876,533	9,738,131
負債純資産合計	12,261,530	12,929,234

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,463,777	5,451,900
売上原価	767,577	1,022,250
売上総利益	3,696,199	4,429,649
販売費及び一般管理費	2,884,150	3,466,088
営業利益	812,049	963,561
営業外収益		
受取利息	1,956	1,215
負ののれん償却額	7,648	7,648
その他	702	1,029
営業外収益合計	10,306	9,892
営業外費用		
支払利息	802	481
為替差損	—	11,774
営業外費用合計	802	12,256
経常利益	821,552	961,198
特別損失		
固定資産除却損	15,845	11,553
特別損失合計	15,845	11,553
税金等調整前四半期純利益	805,707	949,645
法人税等	334,483	400,088
少数株主損失(△)	△11,390	△1,665
四半期純利益	482,614	551,222

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	805,707	949,645
減価償却費	224,530	320,705
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24,530	39,118
売上債権の増減額 (△は増加)	△105,813	101,694
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6,292	1,003
未収入金の増減額 (△は増加)	△22,381	4,031
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14,215	△7,735
未払金の増減額 (△は減少)	△358,394	△82,781
その他	△64,639	△93,629
小計	495,614	1,232,051
利息及び配当金の受取額	2,008	1,162
利息の支払額	△802	△481
法人税等の支払額	△913,548	△1,092,434
営業活動によるキャッシュ・フロー	△416,728	140,298
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,140	△60,065
ソフトウェアの取得による支出	△406,831	△371,414
投資有価証券の取得による支出	△20,000	—
子会社出資金の取得による支出	△67,470	—
敷金及び保証金の差入による支出	△76,519	△8,377
その他	353	803
投資活動によるキャッシュ・フロー	△609,607	△439,053
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	102,760	—
配当金の支払額	△282,203	△390,581
その他	△80	△1,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179,523	△391,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,820	2,920
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,210,680	△687,603
現金及び現金同等物の期首残高	4,321,956	4,661,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,111,275	3,974,162

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

当連結グループは、飲食店販促支援事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

当連結グループは、飲食店販促支援事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。